

まえざわ



ふるさとを知るきっかけに  
手作りの紙芝居を前沢町に寄贈

手作りの紙芝居を寄贈した「紙芝居をつくる会」

前沢町老人クラブ連合会（佐藤茂会長）のふれあい学級「紙芝居をつくる会」は2月17日、会員が制作した紙芝居を前沢町教育委員会に寄贈しました。佐藤会長ら12人が町役場を訪れ、鈴木秀悦教育長に手渡しました。

贈られた紙芝居の題は「私たちのふるさと・思い出」と「板子沢の滝物語り」。会員がこれまでふれあい学級活動で学んできた絵や書道などを生かした、心のこもった作品です。この紙芝居は前沢図書館で管理し、希望団体などに貸し出す予定です。

# まちの話題



えさし

## 身近なことから温暖化防止 省エネの取り組みで藤里小が表彰

県が実施する環境教育「地球温暖化を防ごう隊事業」に参加した藤里小学校＝江刺区＝が知事表彰を受けました。2月28日、川辺賢治水沢地方振興局長が同校を訪問し、表彰状などを贈りました。

この事業は、県がモデル校の小学生を「地球温暖化を防ごう隊員」に任命。2週間にわたり各家庭で省エネルギーの取り組みをチェックし、地球温暖化防止への関心を高めようとするものです。参加した同校5年生18人は、待機電力の削減、水の節約など身近でできる取り組みを知り、今後も継続して省エネに努めることを誓っていました。



川辺局長から表彰状と記念品のエコバッグを贈られる児童

## 合併を祝い奥州路を駆ける 間寛平さんも参加してたすきリレー



スタート地点はズラザアテルイ

みずさわ

奥州市内をリレーで一周する「祝奥州市誕生みんなで繋ぐたすきリレー」(水沢青年会議所主催)が2月25日、タレントの間寛平さんをゲストランナーに迎えて行われました。

この催しは、奥州市の誕生を記念し、祝賀ムードを盛り上げ、市民の一体感を高める目的で企画されたもの。公募で選ばれた75人の市民ランナーが、奥州市への思いなどを記したたすきを結び、49区間53.8\*の道のりを駆け抜けました。力走する市民ランナーと間さんには、沿道から多くの拍手と声援が送られていました。

## 星空にも“Oshu”誕生 新市の誕生にスケール大きな贈り物

おうしゅう

2月20日に誕生したばかりの奥州市に、彗星発見の第一人者である高知県（高知）の関勉（関）さんから、星の命名権がプレゼントされました。

これは、天文関係の民間団体イーハトーブ宇宙実践センター（大江（大江）代表幹事）が、3月4日に開催した講演会の講師を関さんに依頼したことが縁となって実現したものです。寄贈される星は、関さんが13年前に発見した小惑星で、地球からの距離は約7億\*。肉眼で見えることはできませんが、現在は、みずがめ座とうお座の間に位置しています。

気になる星の名前は、関さんの希望もあり「Oshu（奥州）」と名付けられることに。大江代表幹事は「命名をきっかけに、子どもたちが宇宙や自然のすばらしさに気付いてもらえれば」と期待を寄せていました。



スレゼントされた小惑星について説明する大江代表幹事。円内は小惑星の写真（小惑星を区分するため二重撮影しています）

## 感謝の気持ちを演技で表現 胆沢町最後の町民劇場



迫真の演技を見せたキャストの皆さん

いさわ

2月18、19の両日、胆沢町文化創造センターで合併前最後の胆沢町民劇場「つぶっこ太郎」が上演されました。

今回のテーマは「愛・絆・感謝」。最終公演のフィナーレでは、スタッフ、キャスト一同が客席に「ありがとうございました」と一礼。これまで22年間開催を続けられたことへの感謝の気持ちを表すと、会場はさらに大きな拍手に包まれました。翌日には新市誕生となりましたが、観客が残したアンケートには「奥州市になっても続けてほしい」という意見も数多く寄せられていました。

## 今後の農業のあり方を研究 中山間夢をかなえる会を開催

衣川アグリセミナーなどが主催する本年度の「中山間夢をかなえる会」は2月26日、サンホテル衣川荘で開かれました。この日参加した約100人の区内農業関係者らは、平野達男参議院議員の記念公演や、活動事例発表などをおして、これからの農業のあり方などについて課題を探りました。

活動事例発表では、区内外の3団体の事例発表が行われました。集落協定かけだ＝衣川区＝の浦川福一さんは「10年先を見越した施設を目指した」という懸田（懸田）営農館について、ことし1月に完成するまでの経緯や苦労した話を中心に紹介していました。



活動事例を発表する浦川さん

ころもがわ